

～平成 18 年度「すぎなみ大人塾」～

中間報告会 (1) 昼コース

『すぎなみ暮らし塾～30代からの未来プロデュース～』

矢郷恵子さん(昼コース学習支援者)

(2) 夜コース

『すぎなみソーシャル・デザイン塾

～杉並をデザインする社会起業家になる～』

新谷大輔さん(夜コース学習支援者)

・すぎなみ大人塾中間報告会

1. 昼コース：『すぎなみ暮らし塾～30代からの未来プロデュース』

矢郷 恵子さん(昼コース学習支援者 / (有) 毎日の生活研究所)

(1) 杉並の街のこと、知っているようで知らないこと

- ・人口(52万人、うち外国人数は約2万人 住民登録者数は1万人台)
- ・農家の件数(192件、東京都内で5番目 一位は練馬区の440件)
- ・杉並から水田の消えた年(昭和47年頃)
- ・1日に生まれる子どもの数(9.8人/日)

・等、自分たちが住む地域の“足もと”のことを学びながら、昼コースを展開。

杉並の資源：阿佐谷はジャズの街、荻窪はクラシック&ラーメンの街、高円寺はロックの街等の情報を集めつつ、スキルを活かして杉並の未来プロデュースを実現する事業を構築する。

(2) 授業風景の紹介

「地域づくりのための事業」発案。参加型・ワークショップ型形式で展開している。

「夢の会社づくり」にも挑戦。シニアから子育て中の人など多彩な人が参加している。世田谷梅ヶ丘の街ガイドさんを訪問したり、羽根木プレイパーク(「冒険遊び場の第一号」を訪ねたりするなど、区外の活動の視察も行った。

2. 夜コース：

『すぎなみソーシャル・デザイン塾～杉並をデザインする社会起業家になる～』

新谷大輔さん（夜コース学習支援者 / （株）三井物産戦略研究所）

（1）テーマは「すぎなみソーシャル・デザイン塾」

現在「地域みんなの学校づくり」と題して全国の教育改革を参考に、杉並らしい地域の学校づくりをテーマに、ソーシャル・デザインに挑戦（第2フェーズ）している。今後は、施設の活用 教育プログラムや指導者などについて考えていく。

（2）杉並にある資源（人・モノ・建物など）を活用して街を良くする。そのカギが「人」「つなぐ」である。杉並在住・在勤の人自身に街のためにできることを発見してもらう、そのきっかけ作りを行うのが大きな目的である。

（3）参考

第1フェーズ：「すぎなみ社会起業家塾～イノベーションは杉並から起こす～」と題して「自分を知る・杉並を知る」をテーマに自分の可能性に気付くためのワークショップや体験型の講座を展開した。

最終的には「杉並をデザインする提言」までを参加者と共に作成することを視野に入れている。